

マニフェストが「枚方」を変えた!

77項目のうち
9割が達成

選挙の改革、市役所の改革、市政への市民参加を促進

マニフェストには、①選挙の改革 ②市役所の改革 ③市政への市民参加の促進という3つの効果があり、公正で透明な地域主権のまちづくりをすすめる上で大変重要なものです。これまでの選挙では、候補者が名前を連呼したり、「福祉を充実します」などのスローガンを並べるだけで、公約の具体的な中身がみえにくいものでした。しかし、マニフェストでは、例えば「希望しても保育所に入れない子どもの数を4年間でゼロにします」というように、目標を数字で具体的に表すので、市民にわかりやすく、政治や選挙がより身近なものとなり、政策中心の選挙を実現する原動力となります。

マニフェストの3大効果 これが

マニフェストで市民に約束した政策は、選挙を経て行政としての実現目標に変わります。これまでの政策が市役所の中だけで決められていたのに対し、マニフェストでは「市民と市民に選ばれた市長」の主導で政策決定が行われるなど、地方自治の原点に立った市政運営が実現されます。また、そのことによって市長のリーダーシップが高まり、目標を職員と共有し進行管理を適切に行うことで、市役所の仕事のスピードアップも図られます。

市民もマニフェストがどこまで達成できているかチェックしやすくなります。市長はマニフェストが達成できたかどうか、市民に説明する責任が生じ、市民が公平で的確な評価ができるよう行政の情報公開もすすみます。また、検証・評価を通じてまちづくりへの議論が深まり、政策に対する提言など市政への市民参加もすすみます。

医療・福祉 高度救命救急施設を誘致し、救急医療体制が飛躍的に向上

高齢者サービスでは、特別養護老人ホームが400床増えるとともに、ねたきりや認知症にならないための介護予防施策も充実。障害者の就労の場として福祉工場がまもなくオープンします。

子育て・教育 保育所に入れない子どもをゼロに。待望の中央図書館がオープン

市内初の夜間保育所がオープンし、ショートステイ・トワイライトステイ事業を行うなど、子育て支援が充実。学校施設の改修や耐震補強、給食調理場の改善など教育環境の整備もすすみました。

生活基盤 第二清掃工場・新火葬場の整備がすすみ、来春には完成へ

幹線道路となる楠葉中宮線の一部が開通し、枚方公園西側に駅前広場も整備。下水道普及率は90%を超え、枚方市駅と樟葉駅に特急が停車するなど、市民生活の基盤整備がすすみました。

行財政改革 市役所の人件費を削減し、確保した財源を市民サービスに充当

4年間で市職員を400人以上減らすなど行政コストの削減により、赤字解消など財政の健全化が図られました。電子入札システムの導入やISO9001認証取得などにより、行政の透明性やサービスの質が高まりました。

防災防犯 地域防災センターと防災公園が市域中心部にオープン

3月末までに45の小中学校区すべてで自主防災組織が発足。防犯体制の強化を図るため、市内2か所目の警察署が津田駅近くに設置されることも決まりました。

環境保全 ゴミ減量作戦で焼却ごみが2割以上削減、里山保全基金も設立

市民参加の環境ネットワーク会議が発足し、環境家計簿もインターネット上に開設。学校給食への地元農産物の活用やレンゲ栽培米の奨励など、環境にやさしい都市農業が推進され、環境教育も充実しました。

「マニフェスト」ってなに?

「マニフェスト」とは、それぞれの公約について、「何をいつまでに」(目標、期限)「どんな方法で」(手法、財源)など、できる限り具体的な内容を盛り込んだ、市民の皆さんにわかりやすい「責任のある公約」です。イギリスでは、1980年代から活発に用いられるようになり、日本でも地方の首長選挙や国政選挙で導入がすすんでいます。



「枚方版マニフェスト」の達成度を 市民の目線でチェック!

昨年10月の

検証評価大会をレポート

率直な意見交換で
市政はぐっと身近なものに

市民でつくる実行委員会の主催で昨年10月に開かれた「枚方版マニフェスト検証・評価・提言大会」では、中司宏市長が2003年の市長選で掲げた77項目のマニフェストについて市民代表6人が採点しました。



検証評価大会で意見を述べる中司宏市長

市長のリーダーシップや行政改革については

高い評価が目立ちました。一方、産業振興などの面では厳しい意見もあり、6人の平均は100点満点で約70点とやや辛口な評価となりました。

検証後、委員からは「マニフェストは大切な仕組みだけに、作成にあたってはより多くの市民の声を取り入れて」「数値だけで満足するのではなく、市民にどれだけ役立ったかという検証も必要」などの提言が行われました。

中司市長は「公約全体の達成率は90

%ですが、分野によっては厳しい評価もあり、事業実施のプロセスの大切さなどいろいろな気づきがありました。今後も幅広い市民の声を取り入れ、マニフェストをより一層充実させていきたい」と意欲的でした。

大会には市民ら180人が参加。ある市民は「難しい部分もあったが、市民が市長の公約を直接採点することは今までなかったので、市政がより身近に感じられた」と感想を話していました。

効率化度は全国4位

「行政革新度」のうち行政評価やISO9001、民間委託の導入などを評価する「効率化、活性化度」では、全国1位の横浜市と0.7ポイント差で4位となりました。



日本経済新聞社が全国規模の調査を実施して、昨年秋に802都市の自治体ランキングを発表。

日経「自治体ランキング」で高い評価

行政サービスは近畿3位

枚方市は「行政サービス水準」で全国31位、近畿では110都市のうち3位にランクされました。デイサービスや病児保育などの福祉施策、図書館サービスなどが評価されたものです。

全国802都市

●市民意識調査では「住み続けたい」が8割以上

枚方市が昨年実施した市民意識調査ではまちに対する満足度がアップ。「暮らすには便利」と定住志向が強いことがわかり、8割が「住み続けたい」と答えました。

あなたの「声」を枚方市政に活かしませんか



第2期マニフェストを作成します

- 「ときめき枚方」市民の会では第2期枚方版マニフェストを作成するにあたり、多くの市民の皆さんの声を新しいマニフェストに反映させていきます。今後4年間で期待する政策を右記まで提言してください。

「ときめき枚方」市民の会 「魅力ある枚方」を 実現しよう マニフェスト・サイクルを 定着させ

「ときめき枚方」市民の会では、数値目標をもった具体的な公約、「マニフェスト」を推進しています。「マニフェスト」はこの4年間、中司宏市長の手で枚方市政に取り入れられ、着実に成果をあげてきました。選挙での提案と審判、行政による実行と進行管理、市民による検証・評価、そして提言という「マニフェスト・サイクル」を定着させていくことが、これからのまちづくりには不可欠です。枚方を真に豊かで魅力あるまちにするため、市民の力を結集してマニフェスト型の市政をさらに推進しましょう。



「ときめき枚方」市民の会

「ときめき枚方」市民の会は、市内の各種団体や市民で構成し、市民参加の市政を推進することで、魅力ある枚方の実現を目指しています。

〒573-1118 枚方市楠葉並木2-13-9
TEL.072-868-6686 FAX.072-868-6738